

第1回理事会(臨時) 議事概要

1 開催日時 令和7年4月24日(木) 15時00分～17時00分

2 開催場所 Japan Sport Olympic Square 14階 岸清一メモリアルルーム(東京都・新宿区)
次の役員は、自宅や職場、出張先からWeb会議システム(インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム)により参加すると同時に適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることを確認した。

伊 東 秀 仁	栗 原 美津枝	鈴 木 大 地
原 田 雅 彦	松 田 丈 志	村 井 満
來 田 享 子	渡 辺 守 成	

3 出席者 理事総数 30名

出席理事 27名

副 会 長	三 屋 裕 子	副 会 長	酒 井 邦 彦
副 会 長	横 井 裕	専 務 理 事	尾 縣 貢
常 務 理 事	北 野 貴 裕	常 務 理 事	小 谷 実 可 子
常 務 理 事	星 香 里		
理 事	伊 東 秀 仁	理 事	岩 渕 健 輔
理 事	遠 藤 利 明	理 事	太 田 雄 貴
理 事	岡 本 友 章	理 事	栗 原 美 津 枝
理 事	杉 山 文 野	理 事	鈴 木 大 地
理 事	須 藤 実 和	理 事	田 口 亜 希
理 事	谷 本 歩 実	理 事	土 肥 美 智 子
理 事	原 田 雅 彦	理 事	古 谷 利 彦
理 事	松 田 丈 志	理 事	水 鳥 寿 思
理 事	村 井 満	理 事	八 木 由 里
理 事	來 田 享 子	理 事	渡 辺 守 成

監事総数 3名

出席監事 1名

監 事 寺 田 昌 弘

4 議事の経過の要領及びその結果

理事職務権限規程第4条「副会長は会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、あらかじめ理事会が定める順位に従い、その職務を代行する。」との規定に基づく決議により、三屋副会長が会長職の代行を務めること、及び、定款第29条第2項及び第3項「会長に事故あるとき、又は欠けたときは、会長があらかじめ指名した理事が理事会を招集し、議長を務める」との規定に基づき、三屋副会長が本理事会の議長を務めることを報告した。また、冒頭に、三屋副会長より、去る4月3日に本会の眞下昇評議員が逝去されたことを報告し、黙祷を行った。

5 議 案

(1) 評議員候補者の推薦について

定款第11条第3項に基づき、同第12条第2項に該当する補欠の評議員候補者4名、加盟団体規程第3条第1項第1号に該当する正加盟団体による新たな評議員候補者3名を理事会から評議員選定委員会に推薦したい。また、評議員選定委員会開催までに評議員候補者の追加もしくは変更が生じた場合には、三屋副会長および尾縣専務理事に一任いただきたい。

【決議内容】

- ・評議員選定委員会に推薦する定款第12条第2項に該当する補欠の評議員候補者

推薦者氏名	推薦団体	任期
讃井 美紀	(公社)日本ボクシング連盟	令和7年5月19日から 令和9年の定時評議員会 の終結の時まで
蛭田 伸一	(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会	
池谷 正成	(公財)日本ゴルフ協会	
小林 広幸	(独)国際協力機構	

- ・評議員選定委員会に推薦する加盟団体規程第3条第1項第1号に該当する評議員候補者

推薦者氏名	推薦団体	任期
廣田 慶	(公社)日本アメリカンフットボール協会	令和7年5月19日から 令和11年の定時評議員 会の終結の時まで
羽田 恵子	(一社)日本クリケット協会	
亀山 有希	(公社)日本ラクロス協会	

- ・評議員選定委員会開催までに評議員候補者の追加もしくは変更が生じた場合には、三屋副会長および尾縣専務理事に一任する。

(2) 特定費用準備資金の保有について

- ・公益法人の収支相償については、公益目的事業に係る収入と公益目的事業に要する費用を比較し判断する。仮に収入が費用を上回っても、公益目的事業拡充等に充てるための特定費用準備資金を計画的に積み立てること等で、収支均衡が確認されれば、収支相償の基準は充たされる。また、単年度で必ず収支が均衡する必要はない。現在、令和4,5年度の累計で収支相償が成り立っておらず、解消する必要があるため、令和6年度決算で特定費用準備資金を積み立てることによって解消を図ることとし、特定費用準備資金等取扱規程第5条に則り、「コーチ等設置事業積立資産」を保有したい。

【決議内容】

特定費用準備資金として、令和7年度のコーチ等への謝金を対象とした、計画期間を令和7年3月から令和8年3月、活動予定時期を令和7年4月から令和8年3月とする「コーチ等設置事業積立資産」を保有する。

(3) 国際総合競技大会関係について

1) 第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)TEAM JAPAN 編成方針について

来年2月6日から22日まで、ミラノ・コルティナ地区を中心に開催される第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)TEAM JAPAN 編成方針について、「人間力なくして競技力向上なし」という理念を根幹に、選手および役員に高い倫理観と自己規律を求めるとともに、各国・地域との友好親善にも寄与することを目的とし、チーム全体の底上げを図るとともに、国際舞台での競技力向上に資する方針としたい。

【決議内容】

第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)TEAM JAPAN 編成方針

TEAM JAPAN は、「人間力なくして競技力向上なし」を根幹に据え、行動規範を遵守し、各国・地域との友好親善に寄与できる選手と監督・コーチ等をもって編成する。

TEAM JAPAN の選手は、当該競技団体から推薦され、かつ十分な活躍が期待できる者の中から選考する。

2) FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2025/ライン・ルール) TEAM JAPAN 編成について

7月16日から27日まで、ライン・ルール地域/ドイツを中心に開催される FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール)TEAM JAPAN 編成について、TEAM JAPAN 団長に岩淵健輔理事・選手強化事業専門副部長、TEAM JAPAN 副団長に谷本歩実理事を選任したい。岩淵理事は、(公財)日本ラグビーフットボール協会にてジュニアからナショナルレベルまで強化を一貫して担当していること及び第2回東アジアユース大会 TEAM JAPAN 団長を務めた。谷本理事は、アテネ大会・北京大会柔道競技での金メダルの実績及び FISU ワールドユニバーシティゲームズ(2023/成都)並びにパリ 2024 オリンピックでともに TEAM JAPAN 副団長を務めた実績を有する。両名は TEAM JAPAN 全体の士気高揚や運営管理を担う団長、副団長に適任と判断する。

【決議内容】

FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2025/ライン・ルール)
TEAM JAPAN 団長 岩淵健輔、副団長 谷本歩実

3) 第3回アジアユースゲームズ(2025/バーレーン)TEAM JAPAN 編成方針について

過去アジアユースゲームズでは TEAM JAPAN 編成方針は設置していなかったが、国際総合競技大会等派遣規程に基づき、オリンピック競技大会等本会が派遣する国際総合競技大会と同様「人間力なくして競技力向上なし」の理念のもと、各国・地域との友好親善の観点から編成方針を定めたい。

【決議内容】

第3回アジアユースゲームズ(2025/バーレーン)TEAM JAPAN 編成方針

TEAM JAPAN は、「人間力なくして競技力向上なし」を根幹に据え、行動規範を遵守し、各国・地域との友好親善に寄与できる選手と監督・コーチ等をもって編成する。

TEAM JAPAN の選手は、当該競技団体の責任において、将来、国際大会で十分な活躍が期待できる者として推薦された中から選考する。

(4) 令和6年度 JOC スポーツ賞について

・アントラージュ専門部会にて、JOC スポーツ賞規程に基づき、令和6年度に開催された国際総合競技大会、ジュニアを含めた世界選手権大会における競技成績や功績を踏まえて JOC スポーツ賞「年度賞」「特別貢献賞」「トップアスリートサポート賞」「女性スポーツ賞」各賞候補者を選考したので提案したい。

・表彰式は、昨年同様、一般の方にも見ていただける形で、7月12日(土)に実施予定。

【決議内容】

【年度賞】

- | | | |
|-----|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| i | 最優秀賞 | 堀米雄斗 (スケートボード) |
| ii | 特別栄誉賞 | 岡 慎之助 (体操競技) |
| iii | 優秀賞 | 北口榛花 (陸上競技・やり投げ)
鏡 優翔 (レスリング・女子 76 kg級)
加納虹輝 (フェンシング・エペ)
阿部一二三 (柔道・男子 66kg 級)
永瀬貴規 (柔道・男子 81 kg級)
島田麻央 (スケート/フィギュアスケート)
湯浅亜実 (ブレイキン) |
| iv | 新人賞 | 園部八素 (テニス) |

2) 第2回OCA Gender Equity Seminar 2025 報告

ブルネイ・ダルサラーム国において、43NOC から 95 名が出席し、開催された。OCA 理事の小谷常務理事、OCA ジェンダー平等委員会委員の杉山理事、及び事務局 2 名が参加。前日に第 2 回 OCA ジェンダー平等会議が開催された。

(3) オリンピック・ムーブメント推進のための国際大会開催に向けた検討会議について

原案について理事の意見を求めた。次回理事会で報告予定。

(4) マーケティング関係について

1) TEAM JAPAN パートナーシップ 2025-2028 の契約状況

4 月 11 日に三井不動産株式会社、4 月 14 日に株式会社エアウィーヴとそれぞれ TEAM JAPAN パートナーシップ契約の締結を発表。TEAM JAPAN パートナーは計 8 社となった。

2) 2025-2028TEAM JAPAN シンボルアスリート認定式

4 月 21 日、2025 年から 2028 年の TEAM JAPAN シンボルアスリート 10 名、ネクストシンボルアスリート 14 名が参加し、認定式を実施。シンボルアスリートには、JOC とともにスポーツを切り口に様々な社会課題の解決に積極的に取り組んでいく **Social Action** についても説明した。新規の活動も含めて、今後アスリートの意向を踏まえて取り組んでいく。

(5) 第 20 回アジア競技大会 (2026/愛知・名古屋) 大会の進捗状況について

・競技、式典及び文化プログラム、競技大会施設、宿泊施設、ボランティア、輸送、情報技術、メディア、国際関係、警備、大会プロモーション、マーケティング等について報告。

7 その他

令和 7 年度第 2 回理事会(定時)は 6 月 10 日(火)15 時 00 分から開催すると報告。

以上